

事務事業名	天龍峡保存管理計画推進管理事業				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	17	終了	
H27担当課等名	生涯学習・スポーツ課	H27係等名	文化財活用係		H26係等名		文化財活用係						
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり										
	施策	63	地域資産の保存・継承										
目的	対象(誰・何を)	名勝天龍峡指定地				対象指標	指標名及び単位			26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	保存管理計画に基づき、名勝天龍峡を適正に管理する					名勝天龍峡指定地 (㎡)			236305			
	向上させたい上位施策の成果指標	保存・継承している地域資源の数											
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	整備事業等における不適格事案件数				0	0	0	0				
	定性目標												
事業概要	<p>・天龍峡は昭和9年に国の名勝に指定されて以来、飯田市の観光のシンボリックな存在であった。その間、船の発着所・遊歩道・吊り橋・ホテルなどの施設整備されてきたが、過去発生し続けている崖の崩落や落石により、適切な保存管理が難しくなってきた。</p> <p>・平成21年度に観光課とともに、文化庁・長野県教育委員会の指導を受け、保存管理の指針となる名勝天龍峡保存管理計画及び公開活用の指針となる整備計画を策定した。</p> <p>・本事業は、保存管理計画に基づき指定地内での整備計画の実施及び公共事業等の開発行為による現状変更等が適切に実施されるように調整・指導する。</p>												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	1 保存管理計画に基づき、適切な保護協議を実施					1 保護協議回数			1 3回				
	2 名勝天龍峡に係る文化庁及び長野県教育委員会との保護協議の実施					2 保護協議回数			2 2回				
	3 文化庁文化審議会名勝委員会への整備計画進捗状況報告					3 報告回数			3 2回				
	4 必要に応じ、名勝天龍峡保護活用協議会の開催					5 委員会回数			5 7回				
	5 名勝天龍峡整備検討委員会での調整(整備内容の検証を含む)												
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		0	0	0	0								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源													
人件費計(千円)②		1,430	/	1,430	/								
正規職員所要時間		400		400									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		1,430	0	1,430	0								
事業内容・目標達成状況の振り返り	遊歩道等の整備に関しては地元ワークショップで意見交換を行うとともに、整備の詳細は整備検討委員会を開催し検討を行った。施工にあたっては工事立会を実施しており、保存管理計画に定めた取扱い基準の不適格事案は発生しなかった。												
改革改善の考え方	①問題点	個々の整備は保存管理計画の取扱い基準には適合しているものの、整備の質を向上させ、より魅力的な景観にするためには、部材の選択や樹木の伐採についても委員会で詳細に検討する必要がある。											
	②改革提案	委員会での検討課題に、フォトモンタージュでイメージしやすくしたり、部材の実見や現地確認を行うとともに、整備後に改めて現地検証し、改善点を洗い出し、次なる整備に活かしていく。											